

2026年2月12日

関係者さま各位

日本建築学会近畿支部  
木造部会主査 石山央樹

## 2025年度 日本建築学会近畿支部木造部会研究会のご案内

平素は日本建築学会近畿支部 木造部会の活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。このたび、下記の通り研究会を企画いたしましたので、ご案内申し上げます。

昨今、脱炭素社会の実現に向けた木材利用の推進や、長期優良住宅認定制度における基準の厳格化、さらには2025年4月の建築基準法改正を控え、木造建築を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。

木造建築が長期にわたり社会資産として価値を持ち続けるためには、構造計算上の安全性確保はもとより、材料特性を活かした「耐久性設計」と、それに基づく「維持管理」の視点が不可欠です。設計の高度化や仕様の変化が進む中で、いかにして木材の劣化を抑制し、健全な状態を維持していくかが改めて問われています。

本研究会では、第一線で活躍される講師の方々をお招きし、実務で役立つ劣化現象や対策の知見、究極の長寿命建築である「文化財」の修理思想に至るまで、多角的な視点から木造建築の長寿命化について考えます。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

### 記

日時：2026年3月9日（月）13時30分～17時00分

場所：大阪府建築健保会館（大阪府大阪市中央区和泉町2-1-11）6階ホール

参加費：無料

テーマ：木造建築の耐久性を再考する ～最新の法基準から住宅の劣化対策、文化財の保存技術まで～

参加登録 URL：<https://forms.gle/rSxXCXiLt6dwbHpT7>



プログラム：

13:30-14:00 主旨説明、最近の木造耐久性に関する法規準等の動向 石山 央樹（大阪公立大学）

14:00-15:00 木造住宅の劣化事例とその原因・対策 宇佐美 佳那（コシイプレザerverビング）

15:00-15:15 休憩

15:15-16:45 文化財建造物の保存修理における部材の交換／再用の判断および方法 西川 英佑（関西大学）

16:45-17:00 閉会の辞

※ 参加をご希望の方は、上記 URL からご氏名・メールアドレス等を登録してください。  
会場参加が定員に達した場合は、オンラインでのご案内となる場合がございます。

以上

※ 研究会・懇親会に関するお問合せは、石山 央樹（ishiyama(at)omu.ac.jp）までお願いします。

（at）を@に変更して送信してください。